

授業科目名	アニマルヘルスケア	開講学科	ペットビジネス科		
開講科目名	動物の健康管理	開講年度	2021	配当年次	1
開講科目英名	Animal Health Care	開講期間	後期	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	30(2)
講師名					
実務経験概要	獣医師				
授業の概要・目的	<p>トリミングペットサロンやペットショップなどで働くプロとして、犬・猫を中心とした動物の健康管理方法を理解する。</p> <p>また、健康を維持するために必要となるワクチン予防や内部寄生虫、高齢動物のケア方法について、きちんと理解する。</p>				
到達目標	<p>犬と猫の健康管理の基礎知識を持つち、それに伴う健康の維持増進、疾病の予防のために病気のことを理解する。</p> <p>また、身に着けた知識を自らが実践した上で、飼い主にも正しく指導・提案が出来るようになる</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	動物の健康管理の必要性 健康管理とは? 5つの自由 健康チェックのポイント	16			
2	看護動物の健康管理 クライアント・エデュケーションについて	17			
3	看護動物の健康管理 バイタルサイン	18			
4	口腔衛生 口腔疾患と歯磨きの必要性	19			
5	感染症とワクチン 狂犬病	20			
6	感染症とワクチン ワクチンで予防できる病気とワクチンプログラム	21			
7	内部寄生虫 フィラリア症	22			
8	内部寄生虫 回虫症・瓜実条虫症・鞭虫症・トキソプラズマ症	23			
9	外部寄生虫 ノミ・ダニ・シラミ	24			
10	人畜共通感染症 動物から感染する病気	25			
11	繁殖について 交配と出産	26			
12	若齢動物と高齢動物のケア 若齢動物のケアについて理解する	27			
13	若齢動物と高齢動物のケア 高齢動物のケアについて理解する	28			
14	まとめ	29			
15	振り返り	30			
授業時間外学修 (事前・事後学習等)	授業中に適宜課題を与える。				
教科書・テキスト	なし				
参考書	なし				
評価方法・基準	筆記試験80% 出席率20%として100点満点を最高得点として算出する。				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	アニマルヘルスケア	開講学科	ペットビジネス科		
開講科目名	動物の体のしくみ	開講年度	2021	配当年次	1
開講科目英名	Anatomy and Phisiology of Animals	開講期間	後期	必選区分	必修
		授業形態	講義	時間数(単位数)	30(2)
講師名					
実務経験概要	獣医師				
授業の概要・目的	<p>動物の体の構造を知り、どのように機能しているかの基礎的知識を身につける。          そのために消化器・泌尿器・循環器・生殖器等細かく構造を解説したうえで、骨格や筋肉の構造を学ぶ。          それらの知識をトリミングに活かすことを目標とする。</p>				
到達目標	<p>犬猫の体の基本的な構造と働きの概要を知り、トリミング時に動物の体のしくみを理解したうえで、美しく、また動物にとって負担が少ないように工夫することができるようになる。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	総論 細胞 器官とは ○○系とは 学ぶ意味など 教科書 section 1 2	16			
2	外皮系 教科書 section 1	17			
3	消化器系 教科書 section 2	18			
4	泌尿器系 教科書 section 3	19			
5	呼吸器系 教科書 section 4	20			
6	生殖器系 教科書 section 5	21			
7	循環器系 教科書 section 7	22			
8	感覚器系 教科書 section 8	23			
9	筋系 教科書 section 1 0	24			
10	骨格系 教科書 section 11	25			
11	内分泌系 教科書 section 6	26			
12	神経系 教科書 section 9	27			
13	薬膳とホームメイド食	28			
14	まとめ	29			
15	振り返り	30			
授業時間外学修(事前・事後学習等)	授業中に適宜課題を与える。				
教科書・テキスト	イラストで見る動物のからだのしくみ				
参考書	なし				
評価方法・基準	筆記試験90% 出席率10%として100点満点を最高得点として算出する。				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	犬学	開講学科	ペットビジネス科		
開講科目名	コンパニオンドッグ	開講年度	2021	配当年次	1
開講科目英名	Companion Dog	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	2008年『おりこうさん。』を設立。犬にも人間にも優しいドッグトレーニングをスローガンに訪問レッスンやスタジオレッスンを行う。 クリッカートレーニングをはじめとする常に先進的なトレーニングを取り入れ、各地でワークショップやセミナーを開催。 またインターネットを利用したオンラインレッスンを行う。 テリントンタッチのプラクティショナー認定を取得し、犬の身体・心・頭のバランスを整えるトレーニングを行う。				
授業の概要・目的	<p>犬は、愛玩を目的に飼う「ペット」から「コンパニオン アニマル」となり、近年では「コンパニオンドッグ」と呼ばれ、家族の一員として暮らしています。業界(犬界)で、お客様に、そして犬からも信頼されるトリマー(グルーマー)として活躍していくには技術は勿論ですが、アドバイザーとしての知識も必要です。前期では、犬の骨格構成や犬体、各犬種の理想像などについて授業を行います。後期では、飼育現状、犬種とグループ分類、本能と習性など基本的な知識について授業を行います。</p>				
到達目標	お客様や犬とのコミュニケーションに必要な知識を身に付け、犬を理解し、実技演習に活かすことが出来るように授業を行い、お客様から安心して愛犬を預けて頂けるグルーマーに導くことが目標です。				
授業計画(テーマ・内容)					
1	授業のオリエンテーション。授業内容について説明。	16	「ケネルクラブ」。日本および海外のケネルクラブ、ケネルクラブの役割などについて説明。		
2	「骨格構成」。 実習に活かせるように骨格構成を理解しましょう。	17	「JKCのグループと犬種」。 JK C (ジャパンケネルクラブ) の公認犬種とグループ分類について説明。		
3	「骨格名称」。 骨の名称を覚えましょう。	18	「JKCのグループと犬種」。 JK C (ジャパンケネルクラブ) の公認犬種とグループ分類について説明。		
4	「関節」と「遺伝性疾患」。 犬に負担のない保持保定を心掛けましょう。	19	「AKCの公認犬種とグループ分類」。 AK C (アメリカンケネルクラブ) の公認犬種とグループ分類について説明。		
5	「犬体名称」。 保持・保定に必要な犬体名称を覚えましょう。	20	「AKCのドッグショー」。 AK C のドッグショーについて説明。		
6	「サイズを表す用語と採寸」。 サイズを表す用語を覚えましょう。	21	「JKCのドッグショー」。 JK C のドッグショーの審査と見方について説明。		
7	「正姿勢」と「スタッキング」。犬を正しく立たせる習慣を付けましょう。	22	「犬種名の由来」。 犬種名の成り立ちやパターンについて説明。		
8	「犬種標準書(スタンダード)」。理想像を知る必要性について理解しましょう。	23	「飼育現状と義務」、「犬種別登録頭数」。 犬の推定飼育頭数、犬種ごとの登録頭数、飼育時の義務について説明。		
9	「ポメラニアンスタンダード」。理想像と特徴を理解し、実習に活かしましょう。	24	「医・食・住と平均寿命」。 医(医療)・食(食事)・住(住環境)と平均寿命について説明。		
10	「シーザーのスタンダード」。理想像と特徴を理解し、実習に活かしましょう。	25	「殺処分と補助犬」。 殺処分の現実と補助犬について説明。		
11	「マルチーズのスタンダード」。理想像と特徴を理解し、実習に活かしましょう。	26	「本能と習性」。 犬の本能と習性について理解しましょう。		
12	「ヨークシャー・テリアのスタンダード」。理想像と特徴を理解し、実習に活かしましょう。	27	「足」、「パッド」、「狼爪」。犬種による足の形や特徴、パッドの役割や特徴、狼爪の役割について説明。		
13	「各犬種の毛色(カラー)」。OHPを使って各犬種の毛色を説明します。	28	「血統書」。 血統書の見方と必要性について説明。		
14	「前期試験」。筆記試験を行います。また中間期に中間テストを行います。	29	「後期試験」。筆記試験を行います。また中間期に中間テストを行います。		
15	「前期授業の振り返り」。試験を返却し、解答と再説明。	30	「後期授業の振り返り」。試験を返却し、解答と再説明。		
授業時間外学修(事前・事後学習等)					
教科書・テキスト	グルーミングテキスト。 JK C 犬種標準書・用語解説。				
参考書	犬種カタログ、犬の写真図鑑、イラストで見る犬の病気。				
評価方法・基準	筆記試験(中間テストと期末テスト)、課題提出、出席日数など				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点~70点をB、69点~60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	エコロジー概論	開講学科	ペットビジネス科		
開講科目名	次世代のための環境教育	開講年度	2021	配当年次	1
開講科目英名	Environmental Study for Next Generation	開講期間	前期	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	30(2)
講師名					
実務経験概要	大学での専攻は環境経済学、現在海洋環境の保護、改善、維持を福井県越前町にて越前町漁協、越前町社会福祉協議会と協力し行っている。				
授業の概要・目的	<p>我々が地球と共存していく上で環境問題を無視する事は出来ない。地球創世時～人が文明を持つまでの流れを理解し、いつから環境破壊というものが行われ始めたのか、又、これらの問題はどのような解決策があるのかを学ぶ事により様々な場で、地球に優しいとはどういう事を正しく人に伝えられるようになります。</p>				
到達目標	<p>地球の生い立ち、生物の発生、生物の進化、ヒトと地球の関係、環境破壊と保全を理解し説明できるとともに、自分の考えを述べる事ができる。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	概論 講義内容と進め方				
2	宇宙Ⅰ 成り立ちと銀河系				
3	宇宙Ⅱ 地球				
4	生命の誕生 原核生物～爬虫類				
5	爬虫類 恐竜について				
6	哺乳類 サルからヒトへ				
7	動物の歴史とヒトの関わり 野生動物とヒト				
8	ロープワーク ロープワーク				
9	環境問題 中世と現代				
10	環境問題 様々な環境問題				
11	新エネルギー 太陽光や、風力、波力などの新エネルギー				
12	国際取り組みⅠ 世界の環境対策Ⅰ				
13	国際取り組みⅡ 世界の環境対策Ⅱ				
14	前期まとめ				
15	前期内容の総括を行う				
授業時間外学修(事前・事後学習等)	授業中に適宜に課題を与える。授業中に取ったメモなどを元にノートを作成する。				
教科書・テキスト	次世代のための環境教育				
参考書	なし。				
評価方法・基準	ノート提出による評価、但しコピーは不可				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	ドッグトレーニング	開講学科	ペットビジネス科		
開講科目名	家庭犬トレーニング	開講年度	2021	配当年次	1
開講科目英名	Home Dog Training	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	90(6)
講師名					
実務経験概要	ジャパンケンネルクラブ公認訓練所 清水ドッグスクール代表 ジャパンケンネルクラブ公認訓練範士 ジャパンケンネルクラブ公認アジリティー指導員				
授業の概要・目的	警察犬や福祉犬との違い、家庭犬としてのトレーニングを理解する				
到達目標	家庭犬トレーニングの基礎を身に着ける				
授業計画(テーマ・内容)					
1	家庭犬とは／家庭犬の目的を説明	16	待ての意味、教え方③		
2	家庭犬に必要なトレーニングについて	17	脚測行進の意味、教え方①		
3	一般的な家庭犬トレーニングについて	18	脚測行進の意味、教え方②		
4	基本訓練について	19	脚測行進の意味、教え方③		
5	ほめることとは／叱ることとは	20	招呼の意味、教え方①		
6	ご褒美の使い方	21	招呼の意味、教え方②		
7	犬と遊ぶということ	22	招呼の意味、教え方③		
8	停座の意味、教え方①	23	基本訓練のまとめ		
9	停座の意味、教え方②	24	家庭犬トレーニング応用編 訓練競技会①		
10	停座の意味、教え方③	25	家庭犬トレーニング応用編 訓練競技会②		
11	伏臥の意味、教え方①	26	家庭犬トレーニング応用編 アジリティー①		
12	伏臥の意味、教え方②	27	家庭犬トレーニング応用編 アジリティー②		
13	伏臥の意味、教え方③	28	問題行動①		
14	待ての意味、教え方①	29	問題行動②		
15	待ての意味、教え方②	30	問題行動③		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	競技会の参加				
教科書・テキスト	なし				
参考書	なし				
評価方法・基準	実技試験80%、出席率20%				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	ドッグトレーニング	開講学科	ペットビジネス科		
開講科目名	警察犬トレーニング I	開講年度	2021	配当年次	1
開講科目英名	Police Dog Training I	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	90(6)
講師名					
実務経験概要	警察犬訓練所で5年実務経験を積んだのち家庭犬訓練士、警察犬訓練士の資格を取得。 独立開業し警察犬訓練所を11年運営し現在も警察犬訓練士として活動中				
授業の概要・目的	<p>犬は体のサイズのバラエティーがとても豊富で活発な大型犬と小型犬では必要なスキルが大きく違う。トレーナーに限らず、トリマーや、動物看護師など犬の仕事に就く際に大型犬に触れる機会が多い。体重が2～3キロ程度の小型犬では容易にコントロールできることが体重が40キロ～50キロの大型犬では難易度が跳ね上がる。そのため将来犬の仕事に就く為には大型犬に慣れていることが求められる。また警察犬の訓練は犬の本能を利用しているため他の仕事に従事している犬や一般家庭犬にも通じるトレーニング理論が存在する。本開講科目では警察犬訓練所に在籍している主に訓練済みの大型犬を使用し、そのコントロールを習得する。講義では警察犬の特殊な能力はどのような本能や習性、心理から得ることが出来るのか理解する。具体的な訓練方法を理解する。</p>				
到達目標	警察犬訓練所に在籍している訓練済みの大型犬を使用しコントロールを取れるようになる。犬の本能、心理、習性について記述できるようになる。具体的な訓練方法を説明できるようになる。				
授業計画(テーマ・内容)					
1	警察犬種について理解する/訓練道具の使用方法を理解する	16	しつけと訓練の関係を理解する/リードの有無でのコントロールの違いを理解する		
2	犬の性格タイプについて理解する/リードを正しく持てるようになる	17	トイレトレーニングを説明できるようになる/クランクコースを脚側行進でできるようになる		
3	本能について理解する/停座させられるようになる	18	ボディコントロールを説明できるようになる/リード無しの停座ができるようになる		
4	心理について理解する/伏臥させられるようになる	19	ハウストレーニングについて説明できるようになる/リード無し停座で待たすことができるようになる		
5	犬体各部の名称を理解する/立止させられるようになる	20	吠え声のコントロールを説明できるようになる/リード無しで脚側行進ができるようになる		
6	骨の名称を理解する/停座で待たすことができるようになる	21	リーダーウォークを説明できるようになる/指示された行動を犬に取らすことができるようになる		
7	歯の働きについて理解する/伏臥で待たせることができるようになる	22	集中力とモチベーションの関係を理解する/声符のかけ方を理解する		
8	犬の成長について理解する/脚側停座が出来るようになる	23	停座の教え方を説明できるようになる/誘惑にかからずに犬をコントロールできるようになる		
9	社会化期と訓練期を理解する/アイコンタクトが取れるようになる	24	伏臥の教え方を説明できるようになる/褒めと叱りの関係を理解する		
10	血統書について理解する/招呼ができるようになる	25	立止の教え方を説明できるようになる/正しく褒められるようになる		
11	優性遺伝と劣性遺伝について理解する/モチベーションの効果的な使い方を理解する	26	脚側停座、行進の教え方を説明できるようになる/正しく叱れるようになる		
12	ワクチンと社会化の関係を理解する/脚側行進で歩けるようになる	27	物品持来の教え方を説明できるようになる/高い表現力を求められるようになる		
13	犬の繁殖について理解する/訓練中の感情表現について理解する	28	障害飛越の教え方を説明できるようになる/緊張感のある中で行えるようになる		
14	前期内容のまとめ	29	後期内容のまとめ		
15	前期内容の振り返り	30	後期内容の振り返り		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	授業内で質問を予告し、次の授業で答えさせる				
教科書・テキスト	無し				
参考書	無し				
評価方法・基準	筆記試験33%実技試験33%出席率33%で評価する。				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	ドッグトレーニング	開講学科	ペットビジネス科		
開講科目名	補助犬トレーニング I	開講年度	2021	配当年次	1
開講科目英名	Assistance Dog Training I	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	介助犬をそだてる会1年半勤務。日本介助犬トレーニングセンター5年勤務。京都アシスタントドッグ育成協会に勤務、現在に至る。JKC公認訓練士である。2019年人と犬のトータルサポートを目指し「with わん」設立				
授業の概要・目的	<p>身体障害者補助犬をとりまく環境、介助犬がどのような役割をになっているのか基本的な知識を習得する。トレーニングにおいては「犬」という生き物を理解していくうえで基本となる人間の理解とは異なること、犬の物事も理解の仕方、関係の持ち方を体験する。</p>				
到達目標	犬にモノというモチベーターというもの、罰を用いずに犬との関係を持つことを目指すことで犬のトレーニングの積み上げ方の難しさを経験し、「ほめ」のタイミングを習得する				
授業計画(テーマ・内容)					
1	授業について	16	後期担当犬決め		
2	介助犬デモンストレーション	17	課題きめ 介助動作 フードも使用可能		
3	道具の使い方について	18	訓練計画をたてる		
4	犬をさわってみよう 前週学習した内容の実技	19	訓練計画にもとづき訓練 フードの選び方		
5	担当犬決め 自分が第一印象で決めてみる	20	訓練計画にもとづき訓練 フードの使い方		
6	自分たちで犬をだしてみよう ハウスの出し入れ、カラーサイズ合わせ	21	訓練計画にもとづき訓練 犬の行動から犬の認知について①		
7	課題きめ 前期残り6コマで何が教えられるか考えてみる、計画	22	訓練計画にもとづき訓練 犬の行動から犬の認知について②		
8	犬をふりむかせてみよう 犬の興味の取り方 フードは使わず	23	訓練計画にもとづき訓練 誘導トレーニングについて 意識して		
9	ほめてみよう フードを使わずに犬に喜びを伝えてみる	24	訓練計画にもとづき訓練 誘導トレーニングについて 無意識に		
10	コマンドを与えてみよう 犬の興味を引きコマンドをさせてみる。ほめる	25	訓練計画にもとづき訓練 介助犬として到達点の理解		
11	計画を振り返り、再考	26	訓練計画にもとづき訓練 計画再考し訓練の取捨選択		
12	課題トレーニング①	27	訓練計画にもとづき訓練 訓練		
13	課題トレーニング②	28	訓練計画にもとづき訓練 後期復習		
14	前期まとめ	29	後期まとめ		
15	振り返り	30	年間振り返り		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	事前に訓練課題を明らかにしてくる 事後は訓練の見直し 用意する訓練シートに必ず記入する				
教科書・テキスト					
参考書					
評価方法・基準	出席率45%通常点10%実技テスト45%				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	公衆衛生	開講学科	ペットビジネス科		
開講科目名	基礎獣医	開講年度	2021	配当年次	1
開講科目英名	Basic Veterinary Medicine	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	15(1)
講師名					
実務経験概要	大阪市阿倍野区にて25年以上開業獣医師として動物病院を経営				
授業の概要・目的	犬トレーナーとして知っておくべき獣医学の範疇について学ぶ				
到達目標	犬に関わる職業人として生活面・健康面、主なトラブルやすべき予防についての知識を習得する				
授業計画(テーマ・内容)					
1	ガイダンスと犬(人)の身体について①	16	消化器科	前部消化器	
2	身体について②	17	消化器科	後部消化器	
3	狂犬病について	18	循環器科		
4	(混合)ワクチンについて	19	呼吸器科		
5	フィラリアについて	20	泌尿器科		
6	外部寄生虫について	21	皮膚科		
7	薬学について	22	生殖器科		
8	栄養学とフードについて	23	整形外科(骨と関節)		
9	血液検査について	24	内分泌		
10	画像検査について	25	神経科		
11	頭蓋と眼科	26	乳腺腫瘍などよくみられる疾患について①		
12	耳鼻咽喉科	27	乳腺腫瘍などよくみられる疾患について②		
13	歯学科	28	東洋医学や整体について		
14	前期まとめ	29	後期まとめ		
15	前期振り返り	30	後期振り返り		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	ノートチェック、レポート提出				
教科書・テキスト					
参考書					
評価方法・基準	筆記試験70%、出席率30パーセントで最高評価点数を100とする				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	ドッグトレーニング	開講学科	ペットビジネス科		
開講科目名	陽性強化	開講年度	2021	配当年次	1
開講科目英名	Practice of Dog Training	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	家庭犬のしつけ教室、犬の幼稚園、動物介在活動、行動カウンセリング、動物福祉活動、動物同行避難活動、HAB、一般講演				
授業の概要・目的	人間社会において、人と犬がお互いに楽しく共存できるための人道的なトレーニングの基礎を学ぶ。 社会人としてのマナーを身につける。				
到達目標	陽性強化の必要性を理解し、犬、人とのコミュニケーションをよりよくするために活用できる				
授業計画(テーマ・内容)					
1	JAHA家庭犬しつけインストラクターとは	16	担当犬グループ分け		
2	担当犬グループ分け	17	アイコンタクト、リードの持ち方、カラーのつけ外し		
3	犬の進化と家畜化 実技:アイコンタクト、リードの持ち方	18	ハンドターゲット		
4	アイコンタクト、リードの持ち方、カラーのつけ外し	19	一緒に歩く(リードの範囲内での)		
5	学習の生物学的なしくみ 脳と行動の関係 P30～P36 実技:ハンドターゲット	20	オスワリ・マテ10秒・OK開放 オイデ(オスワリ、首輪を掴む)		
6	ハンドターゲット	21	ツイテの教え方／一緒に歩く散歩との違い ツイテ・オスワリ・フセ		
7	社会的階級制度 P37～P40	22	ツイテ・オスワリ・マテ・離れる・戻る・OK開放 言葉の合図の教え方		
8	一緒に歩く(リードの範囲内での)	23	言葉の合図を教える(できない時、すぐにハンドサインを使う)誘導のフードを抜く		
9	犬の言葉 P47～P52 ①	24	ツイテ・オスワリ・マテ・離れる・戻る・OK開放 言葉の合図の教え方		
10	犬の言葉 P47～P52 ②	25	言葉の合図を教える(オスワリ、フセ、マテ／オイデ 一言で出来る様に ランダムのご褒美の与え方		
11	オートマチックのシット	26	言葉の合図 一言で。出来ない時は、すぐにハンドシグナルを使っているか? 手にフードを持っていない事。		
12	マテを教える／オスワリ・マテ・OK開放	27	障がいを抱えた犬		
13	前期復習	28	家族としてのトレーニングP94～P98		
14	前期まとめ	29	後期まとめ		
15	前期振り返り	30	後期振り返り		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	授業内で随時課題を指示する				
教科書・テキスト	犬のしつけ方教室 .テリーライアン				
参考書	なし				
評価方法・基準	実技テストのみ(授業態度、出席率 参考程度)				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	トリミング	開講学科	ペットビジネス科		
開講科目名	キャットグルーミング演習	開講年度	2021	配当年次	2
開講科目英名	Practice of Cat Grooming	開講期間	通年	必選区分	選択
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	30(2)
講師名					
実務経験概要	トリミングサロンデプロトリマーとして勤務				
授業の概要・目的	<p>犬だけではなく、猫も取り扱うことができるトリマーになる為に、猫のグルーミングの必要性を理解した上で、グルーミング手法を習得する。</p>				
到達目標	<p>爪切り・耳そうじ・シャンプー・ドライイング等の方法について、一般の家庭猫だけではなく、キャットショーに出陳する猫にも対応できるのグルーミング方法を習得する。また、猫のグルーミングの必要性を理解し、飼い主とのコミュニケーションの中で提案ができるようになる。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	猫のシャンプーの流れを細かく説明する	16	1名で1頭をグルーミング(縫れの取り方)		
2	学校の猫をモデルグルーミングする	17	1名で1頭をグルーミング(縫れの取り方)		
3	2名で1頭をグルーミング(爪切り・耳掃除のチェック)	18	1名で1頭をグルーミング(尾の脂の取り方)		
4	2名で1頭をグルーミング(爪切り・耳掃除のチェック)	19	1名で1頭をグルーミング(尾の脂の取り方)		
5	2名で1頭をグルーミング(グープの使い方)	20	1名で1頭をグルーミング(重曹の使い方)		
6	2名で1頭をグルーミング(グープの使い方)	21	1名で1頭をグルーミング(重曹の使い方)		
7	1名で1頭をグルーミング(泡の状態を手の感覚で感じるようになる)	22	1名で2頭をグルーミング(爪の間の脂分の取り方)		
8	1名で1頭をグルーミング(泡の状態を手の感覚で感じるようになる)	23	1名で2頭をグルーミング(爪の間の脂分の取り方)		
9	1名で1頭をグルーミング(濯ぎの状態を目・手で感じるようになる)	24	1名で2頭をグルーミング(スピードアップの方法)		
10	1名で1頭をグルーミング(濯ぎの状態を目・手で感じるようになる)	25	1名で2頭をグルーミング(スピードアップの方法)		
11	1名で1頭をグルーミング(保定)	26	1名で2頭をグルーミング(スピードアップの方法)		
12	1名で1頭をグルーミング(保定)	27	1名で2頭をグルーミング(スピードアップの方法)		
13	1名で1頭をグルーミング(ノート提出)	28	1名で2頭をグルーミング(スピードアップの方法)		
14	1名で1頭をグルーミング(ノート提出)	29	講師のチェックなしで最後まで仕上げる		
15	1名で1頭をグルーミング(前期の振り返りと質疑応答)	30	講師のチェックなしで最後まで仕上げる(後期の振り返りと質疑応答)		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	ノート提出				
教科書・テキスト	なし				
参考書	なし				
評価方法・基準	<p>前期 ノート提出80%/出席率10%/授業態度10% で評価  後期 出席率20%/毎授業中(準備・後かたづけ・猫の扱い・技術・スピード)をチェックリストを基に採点80% で評価</p>				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点~70点をB、69点~60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	猫学	開講学科	ペットビジネス科		
開講科目名	コンパニオンキャット	開講年度	2021	配当年次	2
開講科目英名	Companion C a t	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	30(2)
講師名					
実務経験概要	CFA(キャットファンシヤーズアソシエーション USA)公認オールブリードジャッジ				
授業の概要・目的	<p>CFA公認猫種を基に、猫のスタンダードについて学ぶ。  それに加えて、猫について行動学やカラーをはじめとし、繁殖をする際の注意事項等を含め、幅広く学習する。</p>				
到達目標	<p>飼い主に、解りやすく正しい知識を伝えられるとともに、  トリマーとして活躍するうえで、猫も扱えるトリマーになることを目指す。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	オリエンテーション・純血種/MIXの定義・多胎性・肉食について	16	ブリーディング① (健康な猫をブリードする為の知識)		
2	LH/SH・Male/Femaleの性格、飼い方、その他の違い・アメリカンSHについて	17	ブリーディング② (交配～出産まで)		
3	猫と犬の違い① (習性・体型・運動感覚 等)	18	ブリーディング③ (出産～産後の母猫のケア)		
4	猫と犬の違い② (種類・繁殖機能 等)	19	ブリーディング④ (育児～人口哺乳)		
5	行動学① (体の造りによる行動)	20	ブリーディング⑤ (伴侶動物として、性格の良い猫に育てるための知識)		
6	行動学② (猫独特の行動)	21	カラー遺伝① (ソリッド・アグーチ・ポイントカラー)		
7	CFA公認猫種DVD①	22	カラー遺伝② (優性色・劣性色)		
8	CFA公認猫種DVD② 猫種別の分類	23	カラー遺伝③ (雌のみのカラー遺伝)		
9	猫の健康チェック①	24	カラー遺伝④ (両親から受け継ぐカラー遺伝)		
10	猫の健康チェック②	25	老猫のケア① (高齢期の行動、体の変化)		
11	アンリカンカールのスタンダード	26	老猫のケア② (家庭で出来る事)		
12	ノルウェージャンホレストキャットのスタンダード	27	老猫のケア③ (高齢期の病気)		
13	猫の血液型 (FNI 猫新生児溶血性黄疸)	28	猫のシャンプー(犬と違うテクニックを学ぶ)		
14	前期学習分のまとめ	29	後期学習分のまとめ		
15	前期学習分振り返り(不理解部分簿解説)	30	テスト見返り(不理解部分簿解説)		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	授業中に課題を与え、適宜提出させてチェックする。 半期ごとに、ノートまとめを提出させる。				
教科書・テキスト	なし				
参考書	なし				
評価方法・基準	ペーパーテスト(80%) / 提出物(10%) / 出席率(10%)として算出し、最高評価点を100点満点とする。				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	アニマルヘルスケア	開講学科	ペットビジネス科		
開講科目名	ナチュラルケア	開講年度	2021	配当年次	2
開講科目英名	Natural Care	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	ナチュラルケアの啓蒙普及目的とする「CACIOコンパニオンアニマルケア国際機構」協会を母体とする複数の協会にて、認定講師として飼い主様やペット関係従事者様に向けた講義やイベントを10年以上実施。				
授業の概要・目的	代替療法(ナチュラルケア・ホリスティックケア)についての理解を深め、自分に何が出来る事、また飼主さまに提案出来る事を考え、オーナーへのサービスの一環として、説明実践出来る様な知識と技術を修得する。				
到達目標	代替療法であるペットマッサージや犬の食事・ペットアロマに対して、オーナー様への適切なアドバイスやサービスを出来る様になる。また自身のスキルの一つとして、出来る範囲でケースに応じたナチュラルケアを活用出来る様になる。				
授業計画(テーマ・内容)					
1	代替療法(ナチュラルケア・ホリスティックケア)とは	16	ペットマッサージ・総論・ナチュラルケアが注目される理由		
2	犬の食事・犬にとっての理想の食事は何か	17	ペットマッサージ・西洋医学と東洋医学の違いと融合		
3	犬の食事・東洋医学的な体質判断と食材について	18	ペットマッサージ・東洋医学の考え方とツボ		
4	犬の食事・ペットフード安全法・ペットフードの表示	19	ペットマッサージ・マッサージに必要な骨格、筋肉に関する知識		
5	犬の食事・ペットフードの表示・ペットフードの選び方	20	ペットマッサージ・効果と注意点		
6	犬の食事・犬の栄養バランスと手作り食	21	ペットマッサージ・基本手技		
7	犬の食事・犬の手作り食・よくある疑問や留意点	22	ペットマッサージ・リンパマッサージについて		
8	犬の食事・手作り食の食材の特徴と選び方	23	ペットマッサージ・リンパマッサージの実践		
9	犬の食事・カロリー計算・レシピを考える	24	ペットマッサージ・症状別ツボの活用法		
10	ペットアロマ・英式と仏式の違い	25	ペットマッサージ・年代別応用		
11	ペットアロマ・体質判断	26	シニアケアについて		
12	ペットアロマ・精油の選び方、取扱上の注意点	27	温熱療法について		
13	ペットアロマ・基材の種類と使い分け	28	犬の反射区		
14	前期の統括	29	後期の統括		
15	学期の振り返り	30	学期の振り返り		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	授業時書き留めるノートをもとに整理しまとめ、適宜与える課題などに備える				
教科書・テキスト	なし				
参考書	授業内で適宜紹介する				
評価方法・基準	筆記試験70%・その他(課題・出席率・授業内評価)30%・最高評価点数100				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点~70点をB、69点~60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	ドッグトレーニング	開講学科	ペットビジネス科		
開講科目名	アジリティ	開講年度	2021	配当年次	2
開講科目英名	Agility	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	ジャパンケンネルクラブ公認訓練所 清水ドッグスクール代表 ジャパンケンネルクラブ公認訓練範士 ジャパンケンネルクラブ公認アジリティ指導員 ジャパンケンネルクラブ公認 A級訓練試験委員、オビディエンス審査員				
授業の概要・目的	アジリティー競技会のルールやマナーを覚える。担当犬にアジリティーを教える。トレーナーとしてアジリティーに興味がある人に教えることができるようになる。				
到達目標	アジリティー競技会に出陳する				
授業計画(テーマ・内容)					
1	アジリティーとは／アジリティの説明	16	スラロームの練習③		
2	アジリティー競技会の規定の説明	17	簡単なコースの練習①		
3	各障害の説明	18	簡単なコースの練習②		
4	ハードルを跳ぶ練習	19	簡単なコースの練習③		
5	連続したハードルの練習	20	競技会の初級レベルの練習①		
6	方向転換の練習	21	競技会の初級レベルの練習②		
7	タッチ障害の練習 Aフレーム①	22	競技会の初級レベルの練習③		
8	タッチ障害の練習 Aフレーム②	23	競技会の中級レベルの練習①		
9	タッチ障害の練習 ドッグウォーク①	24	競技会の中級レベルの練習②		
10	タッチ障害の練習 ドッグウォーク②	25	競技会の中級レベルの練習③		
11	タッチ障害の練習 シーソー①	26	アジリティーを人に教える練習①		
12	タッチ障害の練習 シーソー②	27	アジリティーを人に教える練習②		
13	タッチ障害の練習 シーソー③	28	アジリティーを人に教える練習③		
14	スラロームの練習①	29	担当犬を入れ替えて色々な犬を扱う練習①		
15	スラロームの練習②	30	担当犬を入れ替えて色々な犬を扱う練習②		
授業時間外学修 (事前・事後学習等)	競技会の参加				
教科書・テキスト	なし				
参考書	なし				
評価方法・基準	実技80%、出席率20%				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	ドッグトレーニング	開講学科	ペットビジネス科		
開講科目名	ドッグビジネスⅡ	開講年度	2021	配当年次	2
開講科目英名	Dog Business II	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	2008年『おりこうさん。』を設立。犬にも人間にも優しいドッグトレーニングをスローガンに訪問レッスンやスタジオレッスンを行う。クリッカートレーニングをはじめとする常に先進的なトレーニングを取り入れ、各地でワークショップやセミナーを開催。またインターネットを利用したオンラインレッスンを行う。テリントンタッチのプラクティショナー認定を取得し、犬の身体・心・頭のバランスを整えるトレーニングを行う。				
授業の概要・目的	<p>ますます競争が激しくなっているドッグ関連のビジネスパーソンとして必要な多岐にわたる知識とスキルを学ぶ。動物福祉に基づくドッグビジネス活動について知る。業界の即戦力として活躍できる準備となる様々な基本的な知識から最新情報まで広く学ぶ。</p>				
到達目標	ドッグビジネスにおける様々な知識やスキルを理解し、動物福祉に基づいてそれらを活用することが出来るようになることを求められていることを深く知る。				
授業計画(テーマ・内容)					
1	自分の定形あいさつ、自己紹介をつくり、自己アピールする一つの方法を学ぶ。	16	ドッグトレーニング計画・記録の付け方を知る		
2	ドッグビジネスの現状を知る	17	強化について学び、ドッグトレーニングやビジネスでの活用方法を知る		
3	ドッグビジネス経営のための収支のメカニズムを理解する	18	犬の問題行動とは何かについて深く考える		
4	ビジネスパーソンとしての接遇を知り、理解する。	19	犬の問題行動について飼い主との関係性を理解する		
5	ポジティブワードを活用によりビジネスの活性化に影響を与えることを理解する。	20	犬の問題行動を改善するためにドッグトレーナーができることについて学ぶ①		
6	ドッグビジネス経営のための集客メディアについて知る	21	犬の問題行動を改善するためにドッグトレーナーができることについて学ぶ②		
7	商品力の重要性について理解する	22	犬の問題行動を改善するためにドッグトレーナーができることについて学ぶ③		
8	飼い主にとって魅力的なビジネス(お店・サービス・スタッフ)について理解する	23	犬の問題行動を改善するためにドッグトレーナーができることについて学ぶ④		
9	広告戦略について理解する	24	犬の問題行動を改善するためにロールプレイングを通して実践的に活用する方法を学ぶ①		
10	動物福祉について知り、実践できるように理解を深める	25	犬の問題行動を改善するためにロールプレイングを通して実践的に活用する方法を学ぶ②		
11	SNSを活用した広告戦略について理解する	26	犬の問題行動を改善するためにロールプレイングを通して実践的に活用する方法を学ぶ③		
12	ビジネスパーソンとして周辺視野について知る	27	後期まとめ		
13	ビジネスパーソンとして柔軟性(思考・行動)について知る	28	後期振り返り		
14	前期まとめ	29	テリントンタッチについてまなび、ドッグトレーニングへの活用方法を知る①		
15	前期振り返り	30	テリントンタッチについてまなび、ドッグトレーニングへの活用方法を知る②		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	スマートフォンアプリ「単語帳メーカー」を宿題として活用し、各自の問題行動解決マニュアルを作成する				
教科書・テキスト	なし				
参考書	なし				
評価方法・基準	出席率40%、テスト50%、授業への取り組み等10%				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	ドッグトレーニング	開講学科	ペットビジネス科		
開講科目名	介助犬トレーニング	開講年度	2021	配当年次	2
開講科目英名	Service Dog Training	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	120(8)
講師名					
実務経験概要	介助犬をそだてる会1年半勤務。日本介助犬トレーニングセンター5年勤務。京都アシスタントドッグ育成協会に勤務、現在に至る。JKC公認訓練士である。2019年人と犬のトータルサポートを目指し「withわん」設立				
授業の概要・目的	<p>介助犬を中心に身体障害者補助犬についてのトレーニングをまなぶ。一般のトレーニングとことなり、社会において法の下で活動をする犬の社会的責任を理解し、その責任を全うできる犬をトレーニングするスキルと知識を身に着ける。</p>				
到達目標	<p>介助犬をトレーニングするうえで、使用者の障害や環境に合わせたその人に必要な項目を見出し、その項目のトレーニング計画を自ら立てることができる</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1・2	道具などの準備物授業内容について	31・32	介助犬デモストレーションを見て動作ポイントを知る		
3・4	年間通しての担当犬決め	33・34	介助動作1項目を選び、計画を立てる		
5・6	担当犬の性質・課題の見極め	35・36	計画を立てた通り担当犬でためす		
7・8	課題に対してのトレーニング計画	37・38	トレーニング計画再考		
9・10	講師指導の下、トレーニング計画見直し	39・40	課題のゴールを理解する/車いすで基本トレーニング		
11・12	基本トレーニング(座れ・ふせ・マテ・脚測・招呼)計画の下行ってみる①	41・42	課題を犬の視点で考える/車いすで基本トレーニング		
13・14	基本トレーニング(座れ・ふせ・マテ・脚測・招呼)計画の下行ってみる①	43・44	動作をおしえるための「ほめ」のポイント/車いすで基本トレーニング		
15・16	トレーニング計画再考	45・46	トレーニングのステップアップの仕方について/車いすで基本トレーニング		
17・18	座れ、、、1視符1声符で行う	47・48	犬の自信のつけ方について/車いすで基本トレーニング		
19・20	伏せ、、、上記に同じ	49・50	動作確認/車いすで基本トレーニング		
21・22	まで、、、伏せ、座れ各々10分以上キープ	51・52	通年課題を車いすでおこなう		
23・24	脚側歩行、常歩で直進できる	53・54	一般の飼い主さんへの動作引継ぎ内容考察		
25・26	上記4項目復習	55・56	引継ぎリハーサル		
27・28	前期まとめ	57・58	後期まとめ		
29・30	前期の振り返り	59・60	一般の飼い主さんへの動作引継ぎ		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	毎回のトレーニング計画の振り返り、計画のたてなおし、課題を明らかにして授業にのぞむ				
教科書・テキスト					
参考書					
評価方法・基準	出席率40%通常点40%実技20%				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	ドッグトレーニング	開講学科	ペットビジネス科		
開講科目名	問題行動	開講年度	2021	配当年次	2
開講科目英名	Dog Behavior	開講期間	前期	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	30(2)
講師名					
実務経験概要	大阪第一警察犬訓練学校で警察犬の訓練方法を学び、後独立開業、主に家庭犬訓練を行う、2016年に「犬の幼稚園 ワンツウクラブ」を設立。				
授業の概要・目的	<p>犬を飼う人は核家族化に伴い多くなりそれに伴い犬の問題行動も多くなっているのが現状である、問題行動は犬の飼育放棄にも直結しており、トレーナーとしては必ず学ばなければならないスキルでもある。本講義では犬の本来の特性を理解して、個別の性格、状況を考慮して、犬に極度な負担を強いることなく、飼い主の訴える問題を踏まえ、家庭内の環境や飼い主のスキル様々な状況下を考え適切にアドバイスできるような方法論を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>問題行動は100頭いれば100通りの問題があるが、講義では主な事例等を上げ、一般的な解決法などを学ぶ、また飼い主に対応するコミュニケーションの仕方や動物心理などを理解する。</p>				
授業計画(テーマ・内容)					
1	問題行動の講義進め方。問題行動の主な種類について知識を深める。	16			
2	攻撃行動について学ぶ。何故犬が人に攻撃するのか、具体的な事例を上げ理解を深める。	17			
3	分離不安について学ぶ。分離不安の原因、対処法、飼い主へのアドバイス方法を学ぶ。	18			
4	排泄の問題を学ぶ。排泄について本来自然にできるもんだが何故問題になるのか、間違った方法や飼い主の心理などを考え理解を深める。	19			
5	破壊的行動について学ぶ。ありとあらゆるものを破壊する犬は飼育放棄につながる、一つだけの原因ではないことを知り、理解を深める。	20			
6	摂食、肥満管理について学ぶ。太る原因はただ飼い主だけの問題ではなく、人の心の問題が大きく影響していることを深く知る。	21			
7	高齢の問題について学ぶ。動物の医療技術の進歩により高齢の犬が多くなってきた、それにともない高齢の犬の問題が多くなってきたことを知る。	22			
8	手のつけられない行動について学ぶ。飛びつきや暴れる、興奮する、その他、飼い主にとって手に負えない行動について深く知識を深める。	23			
9	吠える問題について学ぶ。犬の問題で攻撃について一番多い問題である。犬本来の行動であるが何故大きな問題になるかを深く学ぶ。	24			
10	恐れと恐怖症について学ぶ。恐れは多種多様なものが含まれる、解決法もかなり多く、それらを理解を深め学ぶ。	25			
11	常同行動強制行動について学ぶ。特殊な問題行動である、病理的な見地から深く学ぶ必要がある。	26			
12	その他の問題、特殊な問題について学び知識を深める。	27			
13	行動治療に用いられる薬物について学ぶ。薬の効用について詳しく知る。	28			
14	行動のカウンセリング方法、飼い主とのコミュニケーションをどのように深めるかを詳しく学んでいく。	29			
15	前期学習内容の総括を行う。	30			
授業時間外学修(事前・事後学習等)	問題行動の実例を出しそれについての回答を提出する。レポート形式。				
教科書・テキスト	特になし				
参考書	犬の問題行動 ハンドブック 佐々木伸雄監修				
評価方法・基準	筆記試験を行う。その他として出席点を設ける。15回出席の者は15点与える、3回以上欠席の者は出席点は0点とする。13回の者は13点とする。				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				

授業科目名	看護・繁殖	開講学科	ペットビジネス科		
開講科目名	動物の看護	開講年度	2021	配当年次	2
開講科目英名	Animal Nursing	開講期間	通年	必選区分	必修
		授業形態	講義・演習	時間数(単位数)	60(4)
講師名					
実務経験概要	獣医師(行動分野診療。問題行動、飼育指導、家庭犬トレーニング等)				
授業の概要・目的	動物看護の精神について学び、また、個々の動物の環境や状況を理解し、個性をふまえた生活ステージすべてに関与し、一生を支えるために必要な看護の知識と技術を学ぶ。				
到達目標	ドッグトレーナーとして、看護の知識と技術を習得した上で、飼い主に説明できることを目標とする。				
授業計画(テーマ・内容)					
1	クライアントエデュケーションとは(生涯をサポートする)	16	授業の仕方		
2	看護に関する必要な知識と範囲とは	17	看護実習		
3	バイタルサインについて	18	入院管理①		
4	狂犬病と狂犬病予防法	19	入院管理②		
5	狂犬病(DVD)	20	嘔吐と下痢①		
6	人畜共通感染症について①	21	嘔吐と下痢②		
7	人畜共通感染症について②	22	老化とケア		
8	家に犬を迎える流れ	23	認知症とケア		
9	外部寄生虫①	24	繁殖と遺伝病①		
10	外部寄生虫②	25	繁殖と遺伝病②		
11	動物病院の仕事の流れ	26	繁殖と遺伝病③		
12	看護の精神と飼い主対応について	27	仔犬と子猫のケア		
13	犬と猫の扱い方①	28	ドッグトレーナーとしての看護の知識まとめ①		
14	犬と猫の扱い方②	29	ドッグトレーナーとしての看護の知識まとめ②		
15	前期学習内容の総括	30	後期学習内容の総括		
授業時間外学修(事前・事後学習等)	授業にて習う分野の予習復習を行う。授業中に適宜指導する。				
教科書・テキスト	なし				
参考書	動物看護コアテキスト/ファームプレス など				
評価方法・基準	筆記試験および授業態度等から総合的に評価する				
成績評価	評価点数80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をCとし、59点以下をD評価とする。ただしA、BおよびCを合格とし、Dを不合格とする。				